



令和7年度 松本市立高綱中学校 グランドデザイン

学校教育目標

◆学校長の願い◆

- 人や物事に正面から向き合い、自分の頭で考え、判断し、行動できる生徒に
- 人それぞれの個性の違いを理解し、やさしさを持ち、相手を思いやる生徒に
- 自分の思いを表現する方法を身につけ、自分の持ち味を発揮して活躍できる生徒に

自主：自ら進んで深く考える
友愛：他者も自分も大切にできる
剛健：ねばり強く、たくましく求め続ける

◆保護者の願い◆

- 学ぶ楽しさを実感できる、将来につながる学習指導をしてほしい
- 安全・安心な学校であってほしい
- 将来について考える時間を持ち、未来を切り拓く力をつけてほしい

◆地域の願い◆

- お互いに元気な挨拶ができる
- 積極的に地域とのつながりを持って、地域を支える存在になってほしい
- ルール・マナーを守り、登下校時の安全の確保を大切にしたい



◆生徒の願い◆

- 楽しく充実した学校生活を送りたい
- 友だちとの学び合いを大切に、確かな学力をつけたい
- 自分の考えや意見を皆の前で自信をもって発表できるようになりたい

めざす生徒像（伸ばす資質・能力）

- 自分の思いを表現し、**伝えられる**生徒（伝える力）
- 自ら主体的に考え、互いにかかわり合いながら判断できる**生徒（考える力・問題解決する力）
- 他者も自分も大切に考え、行動できる生徒（自己肯定する力）

実現のための具体的な支援・場面

「伝える力」を伸ばすために

- 人・ものに向き合う姿勢づくり
 - ・「高綱中学生会 4 本柱」の徹底
 - ☆明るいあいさつ ☆光る廊下
 - ☆響きわたる歌声 ☆咲き誇るサルビア園
- 相手意識を意識した「話す・伝える・聞く」場面の設定
 - ・生徒会放送、生徒集会、全校集会、学年集会等で「何を伝えたいか」「どうすれば伝わるか」を意識した発表、発信場面の設定
 - ・話し手を主役にした「聞く姿勢」づくり
- 授業・日常生活における「言語活動」の充実
 - ・どの授業でも、根拠を明確にして自分の考えを説明する場面、話し合う場面を設ける
 - ・伝えるための「話し方」（声の大きさ、速さ、間等）の工夫。
 - ・グループ学習を日常的に取り入れ、「伝える力」を伸ばす支援を研究に位置付ける。
- ICTの日常的な活用
 - ・ICTを活用し、**タブレット等を日常から使用し**、自分の伝えたい事柄を様々な方法を使って伝えられるようにする。

「考える力」「問題解決力」を伸ばすために

- 基礎・基本の定着
 - ・それぞれの力の基盤となる基礎・基本的な学力の定着を図る
- 自分自身で「問い」を持ち、自ら解決する生徒の「自律的な学び」を中心に据えた授業づくり
 - ・教師はファシリテータとなって、生徒が自分自身で「問い」を持ち、その「問い」を自分たち自身で解決していく授業スタイルの実施
- 「思考」を生み出す「問い」と考える場の設定
 - ・ただ単に知識を問うのではなく、「正解のない問い」等から知識を活用し、応用・発展的な「思考」を生み出す場面を設定。
 - ・「比較する」「関連づける」「分類する」など様々な思考が生まれるような追究場面の設定
- 「学びの過程」を大切に評価
 - ・「結果」でなく、そこに至る「努力」や「過程」を重視した教師の評価
 - ・自身の学びのよさや解決方法を振り返り、蓄積していく「振り返り」の場面設定
- 自分の将来を切り開く「キャリア教育」
 - ・体験を通して、自分自身の課題解決に向け追究する中で、自分の持ち味を見出し、将来への明るい展望を持つことができる「キャリア教育」「進路学習」

「自己肯定力」を伸ばすために

- 道徳・人権教育の充実
 - ・道徳や人権教育の授業を充実させ、日々の適切な指導や働き掛けを通して、自尊感情が高める。
- 互いに支え合い・認め合う人間関係づくり
 - ・生徒の思いを受け止める温かい教師の関わり→教師との温かい信頼関係づくり
 - ・個のよさをとらえ、集団の中で個の持ち味を生かすことのできる場面設定
 - ・互いの違いを理解し、他のよさを認め合う学級集団づくり
- 「生徒に任せる」場面の設定
 - ・生徒の「願い」「思い」を中心に据え、生徒に任せ、主体的に活動できる場の設定
 - ・多くの成功体験を増やし、楽しさや自らの良さを実感させる。
 - ・自分から動く主体的な姿、問題解決のアイディア、自身の手で実行する姿を評価
- 地域に貢献する場の設定
 - ・地域の中で、生徒が地域に貢献できる交流・奉仕活動の実施（「ボランティア活動」、「高綱中生と語る会」等）→「頼りになる高綱中生」→自己肯定感の高まり

地域・学校・家庭

家庭との連携

- 授業参観、公開授業、懇談会、学校評価等による双方向の情報交換
- 保護者の教育活動への積極的参加

地域との連携

- 地域連携活動の充実
- 地域へ出かけていく中学生
- 松本大学との連携

小学校との連携

- 芝沢小学校、島立小学校と9年間を見据えた学習指導、生活指導、生徒指導のための連携
- 中1ギャップの解消

チーム若鷹運営委員会（松本版コミュニティスクール）との連携
（読み聞かせ支援・学習支援・環境支援・スポーツ文化活動支援など）